

反応の違う人たちにも隣人となられたイエス様

2022年8月7日

ヨハネ 5:1-18

1その後、ユダヤ人の祭りがあったので、イエスはエルサレムに戻られました。2エルサレム市内には、羊の門の近くにベテスタという池がありました。池の回りには、屋根つきの五つの廊下があります。3そこに、足の不自由な人、盲人、手足のまひした人など、大ぜいの病人が横たわっていました。この人たちは、水面が揺れ動くのを待っていたのです。4というのは、時々天使が降りて来て水をかき回すことがあり、そのとき最初に池に入った人は、病気が治ったからです。5その中に、三十八年間も病気で苦しんでいる男がいました。6イエスはこの男をごらんになり、彼が長い間どんなに苦しんできたかを知って、「よくなりたいですか」とお尋ねになりました。7「もう、あきらめているんです。せつかく水が動いても、だれも池に入れてはくれないんだから。何とかして行こうとしている間に、いつでもほかの人が先に入ってしまうのです。」8「さあ、立って、床をたたんで家に帰りなさい。」9イエスがこう言われると、たちまち男は治って、すぐに床をたたんで歩きだしたのです。

ところがこの奇跡が行われたのが安息日(神の定めた休息日)だったので、10ユダヤ人の指導者たちはひどく腹を立て、その男を責めました。「安息日に労働するとはけしからん。床を上げて運んだりするのは違反だ！」11「でも、私を治してくださった方が、そうしとおっしゃったんです。」12「そんなことを言ったのはだれだ！」彼らは問い詰めましたが、13男にも、だれだかわかりません。イエスはすでに、人ごみに姿を消しておられたからです。14しばらくして、イエスは宮でその男を見つけ、声をおかけになりました。「どうですか、すっかりよくなったでしょう。もう前のように罪を犯してはいけませんよ。そうでないと、もっとひどい目に会うかもしれませんから。」15男はユダヤ人の指導者たちを捜し出し、治してくれたのはイエスだと告げました。16ユダヤ人の指導者たちは、イエスを安息日の違反者だとして、しつこく攻撃を始めました。17ところが、イエスはお答えになりました。「わたしの父は、絶えず良い働きをしておられます。わたしはその模範にならっているのです。」18これを聞いたユダヤ人の指導者たちは、ますます、イエスを殺そうと思うようになりました。イエスが安息日のおきてを破ったばかりか、事もあろうに神を「父」と呼んで、自分を神と等しい者としたからです。(リビングバイブル)

1. イエス様がいやされた人-38年間病気だった人

- イエス様のあわれみ
 - ✧ 長い間病気で、しかも孤立している
 - ✧ 分析ではなく、この人の隣人になったイエス様
- もう一度この人に声をかけたイエス様(14節)
 - ✧ イエス様はこの人の心の内を心配しておられる
 - ✧ この人の反応について？

2. イエス様がいやされた人-生まれつき目が見えなかった人

ヨハネ 9:1-3、6-7、13-41

1さて、道を歩いていた時のこと、イエスは生まれつきの盲人をごらんになりました。2そこで、弟子たちが尋ねました。「先生。どうしてこの人は、生まれつき目が見えないのですか。本人が罪を犯したからですか。それとも両親ですか。」3「いや、そのどちらでもありません。ただ神の力が現されるためです。6こう言われると、イエスは地面につばをして泥を作り、それを盲人の目に塗って、7言われました。「さあ、シロアムの池に行って洗い落とさない」「シロアム」とは、「遣わされた者」の意味。イエスが言われたとおりにすると、どうでしょう。彼は見えるようになって戻って来たではありませんか。

13人々は、男をパリサイ人たちのところへ連れて行きました。14ところで、この日は安息日でした。15パリサイ人たちにどうして目が見えるようになったのかを尋ねられて、男はそのいきさつを、くわしく話しました。16パリサイ人のある者は、「そのイエスという者は、神から遣わされた者ではない。安息日に仕事なんかしたんだから」と断言しました。しかし、「罪人にすぎない普通の人間に、こんな奇跡が行えるだろうか……」と疑問を投げかける者もいます。意見は真っ二つに分かれました。17しかたなく、その盲目だった男に、「おまえの目を開けてくれた人のことをどう思うか」と聞きました。「きっと神様が遣わした預言者です」と男は答えました。18しかし、ユダヤ人

の指導者たちは、盲目だった男が見えるようになったことを、どうしても信じようとはしません。とうとう両親まで呼び出し、19確かめることにしました。「この男は息子だな。ほんとうに生まれつき目が見えなかったのか。だったら、どうして見えるようになったのだ。」20両親は答えました。「はい、確かに息子でございます。この子は生まれつき目が見えませんでした。21けれども、どうして見えるようになったのか、どなたがこれの目を開けてくださったのかは、少しも存じません。どうぞ本人からじかに聞いてみてください。もう一人前の大人ですから、自分で説明できるでしょう。」22-23こう言ったのは、ユダヤ人の指導者たちがこわかったからです。指導者たちはすでに、イエスをキリストと告白する者は、だれかれの区別なく会堂から追放すると公表していたのです。

24指導者たちは、男をもう一度呼び寄せ、きつく言い渡しました。「イエスなどではなく、神をあがめなさい。あいつは悪党だ。」25「さあ、あの方が善人か悪人かは、私にはわかりません。ただ、これだけははっきりしています。私は今まで目が見えなかったのに、今は見えることです。」26「だが、あいつは何をした？ どうやっておまえの目を開けた？」27男はまたかと腹を立て、大声で言いました。「そのことは、もう話したではありませんか。お聞きにならなかったのですか。もう一度言えとは、どういうことでしょうか。あの方の弟子にでもなりたいたいのですか。」

28こう言われて、指導者たちは男をののしりました。「おまえこそあいつの弟子のくせに。われわれはモーセの弟子だ。29神はまちがいなくモーセにお語りになった。しかし、あいつはどこの馬の骨だかわからない。」

30「これは驚きました。あの方は盲人の目を開けることができるんですよ。なのに、あの方のことは何も知らないとおっしゃる。31神様は悪人の言うことはお聞きになりません。しかし、神様を礼拝し、お心にかなうことを行う者には、耳を傾けてくださるんじゃないですか。32世の初めからこのかた、生まれつきの盲人の目を開けた人など、いたためしがありません。33神様から遣わされた方であれば、こんなことはできないはずですよ。」34こうまで言われて、彼らは怒りを爆発させました。「このろくでなしめ！ われわれを教えようというのか！」とどなりつけたあげく、男を外に追い出してしまいました。

35そのいきさつを伝え聞いたイエスは、男を捜し、見つけ出されると、「あなたはメシヤを信じますか」とお聞きになりました。36「先生。どなたがメシヤ様なのでしょうか。教えてください。ぜひ信じたいのです。」37「もうその人に会っているのですよ。あなたと話しているわたしがメシヤなのです。」38「主よ。信じます。」男はそう言って、イエスを礼拝しました。39するとイエスは言われました。「わたしがこの世に来たのは、心の目の見えない人を見るようにするため、また、見えると思いついていて、実は盲目だということをわからせるためなのです。」40ちょうどその場に居合わせたパリサイ人たちが、げげんな顔で尋ねました。「じゃあ、私たちも盲目だと言うのか。」41「もしあなたがたが盲目だったら、罪に問われないですんだでしょう。しかし、何もかもわかっているとあくまで言いはるので、あなたがたの罪はそのまま残るのです。」

- イエス様と、目が見えるようになった人
 - ◇ 弟子たちの目が見えない人への分析を止めたイエス様
 - ◇ 目が見えるようになった人への敵対的な反応
 - ◇ 目が見えるようになった人はあくまでもイエス様の側に
 - ◇ もう一度この人に声をかけたイエス様(35 節-)
 - ◇ 目が見えると思っている人たちへのイエス様のことば(41 節)

「もしあなたがたが霊的に盲目であると自覚していたら、赦されたでしょう。しかし、あなたがたは何でも見ると自負しているではありませんか。それが罪なのです」(現代訳)

- 印象的なこと:
 - ◇ 目が見えるようになった人の理想的な反応。しかし、イエス様は 5 章の人にも 9 章の人にも隣人となってくださっている。

(まとめ)

- 周りの人、神様、また特に自分自身に関して、見えていなかったと気が付いて、驚いた出来事が今までにあったでしょうか。
- イエス様は、そのような時にも実は声をかけてくださっていた、と気が付くことがあるでしょうか。
- イエス様がかけてくださっていた声の中で、自分のために必要だったと印象的なものが何かあるでしょうか。